

熱き離島球児たちの

壱岐で2度目の離島甲子園

激闘



優勝に歓喜する石垣島ばいーぐるズ。



01 好投した宮古島の野原勘汰選手。**02** 宮古島主将・平良勝斗選手のツーベースヒット。**03** 4回裏の緊迫したクロスプレー。この回は石垣島が0点に抑えた。**04** どんな打球でも全力疾走でプレーする選手たち。**05** 決勝戦のスタンドでは、出場全選手が集まり両チームにエールを送った。**06** 胸上げで宙を舞う宮良当志郎監督。**07** 優勝した石垣島ばいーぐるズの面々。**08** チームを勝利に導いた石垣島・渡嘉敷信之介投手。打者としても活躍し、最優秀選手に選ばれた。

時間制限により、6回で終了。

決勝戦 チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計
石垣島ばいーぐるズ	0	3	1	2	0	1	-	7
宮古島アララガマボーイズ	1	2	0	0	1	2	-	6



令和六年八月一九日、一一年振り二度目となる長崎県壱岐市を舞台に第一五回全国交流中学生野球大会（通称…離島甲子園）が開幕。『魏志倭人伝』にも登場し、国の特別史跡「原の辻遺跡」も所在する歴史深い地に、東京都大島から沖縄県西表島まで二五市町村・二三チームの離島球児たちが集結し、三日間にわたる熱戦が繰り広げられた。

本大会を制したのは石垣島ばいーぐず。二二日の宮古島アラガマボーイズとの決勝戦は、手に汗握る展開。一回裏、宮古島が一点を先取るが、二回に石垣島が三点を返し逆転。しかし、その裏に知念秀周選手ひでちかのツーランHRで同点に追いつく。その後、両チーム得点を重ね、石垣島の三点リードで迎えた最終回、宮古島が二点を取り返し、なお二死満塁。観衆が固唾を飲んで見守るなか、渡嘉敷信之介投手が後続をしのぎ、石垣島が三大会ぶり二度目の栄冠を手にした。



石垣島ばいーぐるズ



09 ホームに向けて力走する屋久島選抜の末原航治選手。
 10, 11 ホームランを打った永田大旺選手を迎える徳之島選抜。その直後に、西田 奨選手も本塁打を放った。12 得点を喜ぶ沓崎市選抜。13 沓崎市選抜の菊池啓吾選手のバント。
 14 隠岐の島あんやらず対沓崎市選抜にて。2塁での攻防。15 佐渡市中学校選抜・下坂 朔選手の疾走。出塁なるか!? 16 アンダースローが特徴のKAMIJIMA・亀井哲翔選手。
 17 本塁打を打ってスタンドにガッツポーズをする対馬ヤマネコボーイズの阿比留大和選手。18 ピッチャーが良いのかな……。試合結果を分析する龍郷選抜の選手たち。



12



16



13



17



14



18



15



22



19



23



20



21



24

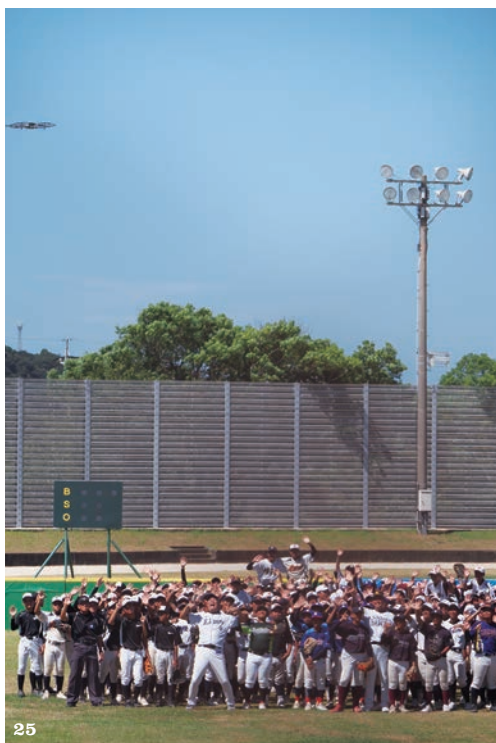
19 僕の体を見れば分かる通り、吉崎のご飯は美味しいです。皆もぜひ食べて下さい！ 歓迎の言葉を述べる吉崎市選抜の山本泰参主将。20 開会式では各主将が壇上に上がり、試合に向けた抱負を語った。21 「まさかりドリームス」の水上善雄さんからキャッチボールの指導を受ける選手。22 毎回盛り上がる野球教室でのバッティング指導。23 2分間のキャッチボール回数を競う「キャッチボールクラシック」。懸命にプレーする五島パラモンの選手。24 キャッチボールクラシックの優勝を喜ぶ奄美市選抜。25 ドローンで参加選手全員を記念撮影。26 さよならパーティで交流する選手たち。27 今大会に出場した女子選手の皆さん。28 377名の離島球児が出場した本大会は、盛会裡に幕を閉じた。



26



27



25

ボールから目を離さないように——。

閉会式では、離島甲子園講師の袴田英利さんが健闘を称えるとともに、ケガをせず、より上手なプレーにつながるためのアドバイスを選手たちに送った。その後、恒例の「まさかりドリームス」による野球教室、「キャッチボールクラシック」「さよならパーティ」が開かれ、球児たちは交流を深め合った。

また、会期中に離島甲子園では初めてとなる指導者の交流会が開催され、野球を通じた人材育成などについて活発な意見交換が行なわれた。

三十七名もの離島球児が参加した本大会。ここで育まれた絆や一所懸命に取り組む精神が、島の未来を明るくしていくことだろう。

次回の大会は、沖縄県宮古島市での開催を予定。今回の準優勝チームが初となるホーム大会で雪辱を晴らすのか、南の島での熱戦が早くも待ち遠しい。

(写真と文・石川)